

【After 3.11】

3.11の東日本大震災が発生して5ヶ月が過ぎました。メディアからは毎日情報が流れてきます。そして、その情報に接するたびに「ム・ム・ム・????」と考えさせられます。それは日本語の曖昧さについてです。

【想定外】

今年の日本語大賞間違い無しと思えるくらい、子供たちまでが使うようになりました。ただ、どんな場面で使われるかということ、それは、何か自分が失敗を犯して原因・理由の説明に窮した時です。

「想定外」＝「人智を超えた」とするなら何事にも経験の乏しい子供が使うのは許せます。しかし、これを一国の総理大臣や、大企業のトップが使ったとしたらどうでしょう。この一言で一時は国民も納得した(巧く誤摩化せた?)かに思われましたが、今では、曖昧な言葉を使ったツケが本人たちに回って来ているようです。

【想定を超えた】

最近では「想定外」はあまり新聞紙上では目にしなくなりました。これに代わって「想定を超えた」となっています。これだと少し理解しやすいというか、何らかの経験をもとに基準となる数値的なものがある意味合理的に設定されていたのだなと理解できます。ただ、その設定されていたであろう数値について、未だ公表されていないのと、もし公表されたとして何処まで国民と国際社会が納得できる合理的説明がなされるのか気になります。

【謝罪したいと思います。感謝申し上げたいと思います。】

今回の報道ではさすがに耳にすることはありませんでしたが、ずっと気になっています。この言葉の後に、「申し訳ありませんでした、ごめんなさい!」とか「ありがとうございました!」と続ける人は滅多にいません(特に政治家・官僚・大企業のトップ)。これを聞かされた私は、「思っているだけなの?で、いつ謝るの?」と怒りが込み上げてきます。

曖昧な日本語・美しい日本語

日本語の曖昧さを否定するものではありません。太古以来、極東の孤島で、その曖昧な気候・風土の中で育まれて来た文化を昇華させて来た根源でもあります。美しさとか悲しみを表現する美しい言葉の数々を大切にこそ、これからも我が国の文化と品性を守っていけると確信しています。しかし、今や、一国のリーダーが発する言葉は瞬時に国内はもちろん世界中に発信されます。曖昧な日本語を使っても理解してくれるのは(誤摩化せるのは?)ごく一部の善良な日本人だけなのだとすることを、よくよく肝に命じ、「日本語」の使い方に気をつけて欲しいものです。

天皇・皇后両陛下が被災地を訪れ、被災された皆さんにお言葉をかけられています。その美しく・慈愛に満ちあふれたお言葉を耳にする度、両陛下の我が国と我が国民に対する

深い愛情を感じるのには私だけではないはず。日本人としての品性」とは、「国家の品格」とはと、両陛下のお言葉に接するたびに考えさせられます。特に今年は!美しい日本語を大切に、正しい言葉遣いを身につけたいと思います。

今後の活動予定		
9/3(土)	おかやま交流・定住フェア 2011 ＜AP 梅田大阪＞	ルポ
9/10(土)～13(火)	第1回 岡山県真鍋島の暮らし3泊4日 ＜(社)全国農協観光協会 企画/主催＞	サポート
10/29(土)～31(月)	グリーンツーリズム 現地研修会 ホスピタリティーツーリズム専門学校 大阪 ＜(社)全国農協観光協会 企画＞	サポート

会員募集

NPO 活動に興味のある方。ナニか地域に貢献できたら...などと考えているあなた!

私たち NPO CDM JAPAN では、会員から募った専門家によりプロジェクトチームを結成し業務にあたっています。地域再生には多分野の専門的な知識が必要となります。一緒に活動して下さる方は、事務局へご連絡ください。

会員種別	総会での議決権	入会金	年会費
個人正会員	ある	6,000 円	12,000 円
個人賛助会員	ない	無し	3,000 円
団体会員	ある	1,200 円	60,000 円

CDM JAPAN の情報は Web でチェック!

<http://cdmj.or.jp/> をご覧ください。

今話題の twitter でも「ツイート」してます。

@npocdmj をフォローしてください。

広告欄 お金のプロ・FP による無料相談

ムダのない家計管理をアドバイス

「将来に備えたお金のこと、無駄のない家計のやりくり...どうしたら?」そんな方に FP (ファイナンシャルプランナー) が、ご相談に応じます。特に以下の事項を重点的に掘り下げます。

- ① ライフプランニング (あなたの人生設計)
 - ② 各種保険の見直し
 - ③ 住宅ローンの組み立て、組み替え
- ご相談はいつでも無料! 予約の上、来店いただくか、出張での相談もいたします。遠方の方もご遠慮なくご相談ください。詳しくは、以下へお問い合わせください。

(株) ライフゲート 岡山事務所

0800 (200) 1020

営業時間: 午前 10 時～午後 6 時

倉敷市田上 14-7 リードビル 2 階

Eメール lg-kurashiki@da3.so-net.ne.jp

<http://www.lifegate.jp/company.html>

本社: 東京都中央区新川 1-8-6

秩父ビルディング 4F



2010年度を振り返って

まとめ: 難波 昭彦

前回までのクォーターリーでも報告してきました通り、昨年度の我が CDMJ の事業は2つの事業が柱でした。

一つは経済産業省の交付金事業「地域新事業移転促進事業(農商工連携等促進人材創出事業)」の補助金を活用した、笠岡市島嶼部でのツーリズム事業推進の取り組みで、平成 20 年度から 3 年間の継続事業の最後の仕上げの年でした。

もう一つは、県からの委託事業「岡山県中山間地域等空き家流動化推進業務」。これも厚生労働省の交付金「ふるさと雇用再生特別交付金」の補助金を活用した事業で、県内中山間地域の空き家調査とその所有者からの貸したい・売りたいといった意向調査、そして地域資源調査を行ってきました。今年度もあと 1 年ですが継続して取り組んでいます。どちらの事業も国の交付金を活用した事業だということ共通点がありますが、この二つの事業にはもう一つ大事な共通点があります。

それは、どちらの事業も地域再生・活性化のための取り組みだということです。「地域の再構築」をその理念の柱に掲げている我が CDMJ が取り組むべき事業と、前者は公募に応募して、また後者は指名プレゼンコンペに参加して獲得した事業でした。企画書の作成に頭をひねっていた頃が懐かしく思い起こされます。

何故「地域再生・活性化」なのか

今では空白の 10 年といわれる時代、1990 年代後半から 2000 年代前半の 10 年間はグローバル化に対応するため、国を挙げてあらゆる事業所でリストラが行われました。海外移転、従業員の削減、人材派遣の製造業での認可等々、枚挙にいとまがありませんが、このために国は莫大な予算をつぎ込みました。結果、残ったのは、デフレ経済と、雇用不安、地方経済の急激な衰退、そして国の莫大な借金です。この間使った国の予算が、将来の我が国の経済発展のための投資なのだとしたら「ものづくりの国」を自負する我が国の製造業にはますます頑張ってもらわねばなりません。「ものづくり大国」を神話で終わらせてもらっては困ります。

2005 年を過ぎて、国も「内需」ということがどうい

となのか真剣に考え始めたのでしょうか、地域単位での経済の活性化についてどう取り組むべきか、マスコミでも国の施策を取り上げ、国や地方の取組が数多く紹介されるようになりました。

そして、予算も国から地域の民間の活動団体(NPO や地域づくり協議会・事業所)に対して直接交付されるものが付けられるようになりました。

その最初のもので、我々も活用させていただいた、農林水産省の「農村コミュニティー再生・活性化支援事業交付金」(2006 年～)でした。県内の地域資源の調査とその活用策を考えるための事業でしたが、これに取り組んだ 3 年間に蓄積されたものは、現在の我々の活動のベースになっています。

「内需」拡大を真剣に考えるのであれば、国民一人一人を豊かにするしかありません。

そのためには、今こそ、地方のさらには地域の再生・活性化のために活動するべき時だと我々は考えています。今まではあまりにも中央と地方、都市部と田舎(中山間地域)という構図で考え、都市部が儲ければ地方も潤うという幻想に頼っていました。その逆の、地方が儲ければ中央も潤う、田舎が儲ければ都市部も潤うというかつての我が国のかたちを取り戻す時ではないでしょうか。

地域の再生のために CDMJ が取り組むこと

では、我々のように地方において、地方(地域)の活性化に取り組む団体はどのような活動をし、事業を立ち上げていくべきでしょうか。人それぞれに、また活動団体それぞれに考え方は違いますが、我々 CDMJ は、新事業の創出と雇用の確保、そして新事業を創出発展させていくための人材の発掘と育成と考えます。

地方には、地方独自の地域資源が眠っています。この地域資源を巧く活用すれば地域の特質に合った小さなビジネスはいくらでも立ち上げられます。そのビジネスを可能にするのは人です。自分の人生の可能性を地方で試したい人のためにも我々は地方からの情報を発信させていきたいと考えています。



育成中の若者たち



活動成果



グリーンツーリズム販促ツール

笠岡諸島歳時記を作り終えて

岡本 直樹

正確には笠岡諸島歳時記と笠岡諸島物語の二部構成からなります。歳時記は季節毎の行事・風習・自然条件などからなり、物語の方はガイドブック的要素が強く、島々のインフォメーション一覧となっています。また、これらの成果物はそれぞれ、印刷物と CDM の HP にて9月上旬には見ることができると思います。

今回の制作にあたって以下のことを留意しながら作業を進めました。

①自分の目で見ると。②できる限りご本人の話を聞く。③どこかで見たことのあるようなものにならない、です。

さてどの位、それらのことが達成できたかは皆さんの評価にゆだねます。島を訪れる際のアクセスの要である航路図、時刻表等については緻密な作業のできる佐藤君に一任しました。とても分かり易いモノができたと思っています。しかし、残念なことに、航路及びタイム・テーブル、料金すべて今年の10月1日をもって変更されるそうです。そういうワケで改訂版の用意ができるまで本格的印刷は控えている次第です。HPの方はもうすぐ見ることができると思います。

今回の取材中のエピソードの一つを紹介します。^(注1) 私たちは今年の3月3日、飛島、六島の取材に出掛けました。飛島行の船には合計8名の乗客。私たちを除くと6名です。話し合ってる内容からすると、どうやら通学途上の生徒とその先生の様です。後でわかったことですが、3名が小学生。3名が先生だそうです。小学生は全員男の子で6年生2人。5年生1人の内訳です。それにしても妙な光景です。子供達が島から本土へ通学するのなら辻つまが合うのですが、

逆です。事情を子供達と先生に聞くと、^(注2) 次のようなことが判明しました。

6名全員、本土居住。飛島に残る唯一の小学校を存続させるため、ワザワザ逆コースの通学になっている。子供達の親は飛島出身であるが、本土居住とのこと。また、3月現在、飛島小学校在籍はこの3名のみで、島には1名の学童も残っていない。その上、この3月で2名が卒業するため、やむなく本年にて飛島小学校は休校となる…^(注3) そのような驚くべき事実が次々と明かされると、あまりの予想外の話の展開に二の句がつけませんでした。

島民にとって“学校”その存在の大きさは都市部にいる私たちにはなかなか想像できないものです。例えば、島の小学校の運動会。たった数名の学童のため、島の縁者が本土より（遠くは関西方面からも）わざわざ来島し200名、時には300名の応援団ができるそうです。現在、実質の島の人口が90名程度であることを考えると、いかにとつもないことであるか想像できます。

老人だけの島、子供達の笑い声が聞こえない生活。少しSFチックな気分さえしますが、ご当人達にとっては限りなくさびしい思いをなさっていると思います。このような現象は飛島だけの話ではありません。大なり小なり、すべての笠岡諸島で起きつつある現実であります。

さて、最後にそういうことはヌキにしても一度、島々を訪れてください。それぞれの島の魅力を発見してください。

注1) 取材班 / 岡本・佐藤

注2) 校長先生 / 田中由美子氏

注3) 廃校ではない。休校と廃校は違う。



海上から見た大飛島、右端に小学校



生徒3名の笠岡市立飛島小学校



島のすべての中心、飛島小学校。りっぱな校舎です。

第10回総会報告

平成23年6月25日、NPO法人CDMジャパン第10回総会が実施されました。

最初に、この春新たに結成したITチーム3名より、ITチーム結成の経緯・CDMホームページ改訂案の説明がありました。改訂版では、更新頻度の向上・記事投稿の簡素化を目指します。今後は、コンテンツの英訳にも対応する予定です。

続いて、平成22年度事業・会計・監査報告、平成23年度事業計画案の報告が行われました。事業計画では、

笠岡歳時記に続くCDMの情報発信、空き家流動化に関する新たなビジネス案などが示されました。最後に、平成23年度予算案について、難波局長より説明がありました。総会終了後、懇親会が行われ、ビール片手にさらに話が弾みました。

語学こそ本当のパスポート

世界の4億人と通じるスペイン語を
楽しく学んでいます!

インターネットが普及して国際時代が一気に加速した感がありますね。最近はfacebookやtwitterのコメントを、外国人ユーザーを意識して英語で書く人も増えています。いやみな言い方に聞こえるかもしれませんが、アメリカで3年も生活すると、英語のフレーズは「むかし聞き取れもせず、意味もチンプンカンプンだった」ことが、もはや信じられないくらいに「意味のあるセンテンス」として耳に入ります。

語学習得の過程で悔し涙をたくさん流した一人としてこつを伝授しちゃいます。ポイントは、2つだけ! 「この言葉を操って、人と話したい」という願望(パッションと目的)と「とにかくたくさん聞いて、間違ってもいいから使ってみる」というスタンスの練習の積み重ね(量)です。あとは脳みそが勝手にチューンアップしてくれるので、体が覚えるのに任せるだけです。

これは他の言語でも同じです。スペイン語は日本語と同じように母音が多いので、日本人にも聞き取りやすく、発音がしやすいので習得に至っては超アドバンテージがあるんですよ! ブラジル(ポルトガル語)を除くラテンアメリカ諸国とスペイン等で通用しますから、ざっと20カ国、4億人の人と友達になるドアが開かれることになります。

ラテンアメリカは日本ではまだまだ馴染みの薄い国。「ケセラセラ(なるようになるさ)」の神様任せのリラックスした陽気な文化と「ミカサエストッカサ(わたしの家はあなたの自宅)」のホスピタリティ&フレンドリー精神あふれる文化、そして日本人にはたじたじのほっぺにチュッチュのあいさつ文化、語学の背景にあるそういった生活文化まで踏み込んで捉えたら、言葉に生き生きとした命が吹き込まれてより面白くなりますよ!

スペイン語教室では陽気で気さくなチリ人のラリ先生とコスタリカ人のアレハンドラ先生を通して、それぞれのお国柄を汲み取ることができます。何より、スペイン語圏に行きたいというあなたを応援しています!一緒に夢を追いかける仲間ができるのも楽しいですし、一度教室を覗きにきてみてくださいね! (スペイン語教室一白井隆子)

コスタリカ交流協会スペイン語教室(ゆうごうさーびず株式会社委託事業)
問い合わせ先: 086-284-4839

puravid@costaricafan.net



ときには課外授業も@岡山駅前スペインBAR「BALSA BALSA」にて

WHO'S WHO

理事: 磯邊 崇



磯部氏とは、現代表理事の守安俊明氏と「21世紀の新しい組織のかたち」について話をしようということでお会いした時同席していただいたのが初めての出会いでした。当時、未だ30過ぎの若者が早40過ぎ。「光陰矢の如し」です。CDMJ設立当初からの参画で、定款作成を皮切りに、契約文書の作成、会計書類の整理と、行政書士としてビジネスコンサルタントとして、組織に貢献していただいています。

設立当初から入会し、現在は会計を担当しています。1男2女の父で、長女(16)は昨年イギリスにバレエ留学しています。

本業は行政書士、ファイナンシャルプランナーを営んでおり、宅地建物取引主任者も登録しています。東日本大震災以降、岡山の災害耐性(自然災害が比較的少なく、甚大な被害も少ない)、交通利便性(新幹線、航空便と空港までのアクセス)などが注目されつつあり、中山間地域の空家流動化というテーマはさらにクローズアップされると思います。不動産取引だけでなく、家計の資産管理や相続対策など、資格や実務経験を生かして地域の活性化にも貢献できればいいなと考えています。

会員の活動のご紹介

ふもと学習塾 / 代表 麓 敦子(ふもと あつこ)

1986年 同志社大学文学部文化学科教育学専攻卒業
1996年 岡山にてふもと学習塾開設 現在に至る

小・中学生を対象とした小さな個人塾です。よく学ぶことはよく生きることに繋がります。子ども達ひとりひとりが自分の力で未来を切り開く力を身につけてほしいと願っています。当塾では学年別のクラス編成をしていません。少人数の寺子屋式学習スタイルです。指導内容は数・国・英を中心として入塾時に学習相談を実施、個人別に対応しています。受験指導(中学・高校)、家庭学習についても指導いたします。学習内容をしっかり理解してきちんとできる力をつけましょう!!

対象者: 小学生~ 科目: 数・英・国
講座時間割: 木曜: 17時30分~19時30分
土曜: 14時~16時

学費等、詳細はCDM JAPANまでお問い合わせください。後ほど担当者からご連絡を差し上げます。



寺子屋チックな時の流れ CDM オフィスにて